



YOUNG MEN IN CRISIS

米ビジネス界の論客が渾身の警鐘
ネット世界に閉じこもる若き男性たち
彼らを救い出す“意外な方法”とは

現代のアメリカで、若い男性たちが未曾有の危機に直面している。18歳から25歳の男性の半数弱が「対面で女性にアプローチしたことがない」という衝撃的な統計が示すのは、“コミュ力不足”といった単純な問題ではない。鋭い社会批評で知られるスコット・ギャロウェイ氏は、問題の背景に、巨大IT企業によるAIやSNSビジネスの弊害、教育システムの歪みがあると指摘する。未来を奪われつつある現代の男子たちを救い出す術とは――。



番組ホスト

アンダーソン・クーパー

1992年、教育向けニュース・チャンネル、Channel Oneでキャリアをスタート。1995年、28歳のとき、最年少特派員としてABCと契約。その後、同局の「ワールド・ニュース・ナウ」などの看板番組のアンカーを務める。2001年12月、CNNに入局。1967年生まれ、ニューヨーク育ち。2児の父。

ゲスト

スコット・ギャロウェイ

ニューヨーク大学スターン経営大学院教授。自身も起業家であり、これまでに9つの会社を起こし、複数の会社の役員を務めてきた経歴を持つ。著作も多数あり、とりわけ彼の著作の訳書「the four GAFA 四騎士が割り変えた世界」(東洋経済新報社)は、日本に「GAFA」という用語を広めるきっかけとなったといわれる。1964年生まれ。米カリフォルニア州ロサンゼルス育ち。



Listening Quiz

61 若年男性の半数近くが異性にアプローチした経験なし



Anderson Cooper There is a crisis facing boys and young men in this country, and my next guest, author and podcaster Scott Galloway, says it affects their ability to form friendships, go out on dates, find jobs, find purpose in their lives. And Scott joins me now.

The statistics are insane—like, 45 percent of men 18 to 25 have never approached a woman in person.



Scott Galloway Never asked a woman out in person. You could largely describe America right now as a giant bet on AI. Ten companies have driven all the growth in GDP, are responsible for 77 percent of the earnings growth. Our economy literally rests on 10 companies now, often referred to as the Magnificent Ten.* And they do several things, but quite frankly, they're in the business of enagement, polarization, and then sequestering young people from all other activities. And I'm not...



Cooper And that's only getting worse given where AI is going, with, like, agents and chatbots who are, you know, sexily clad, anime-type figures chatting with young men.*



Galloway Well, it starts pretty innocent. When you use AI, have you noticed the prompts that are almost irresistible at the end? “Let me put this in a series of tweets.” And before you know it, you're three hours deep.

But effectively, these companies have attached the entire econ-

- podcaster:**
ポッドキャスト配信者
- insane:**
《話》とんでもない、ものすごい
- in person:**
対面で、直接
- a bet on:**
～への賭け
- drive:**
(経済や成長など)を推進する、けん引する
- be responsible for:**
～の原因となっている
- earnings:**
収益、利益
- rest on:**
～に頼る、依存する、基づく
- refer to A as B:**
AをBと呼ぶ、称する
- be in the business of:**
～を商売にしている
- enagement:**
激怒させること
- polarization:**
分極化・分断させること
- sequester A from B:**
AをBから隔絶させる
- agent:**
(AIの) エージェント、代理プログラム
- sexily clad:**
セクシーな服装をした
- prompt:**
(コンピューター画面上の) プロンプト、動作指示
- irresistible:**
抵抗できない、あらがえないほど魅力的な
- be...deep:**
…(時間)の間(活動などに)入り込んでいる
- effectively:**
事実上、実質的に
- attach A to B:**
AをBに結びつける、ひも付ける

※お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

アンダーソン・クーパー この国の少年や若い男性たちはある危機に直面しています。次にお迎えるゲスト、著述家でポッドキャスト配信者のスコット・ギャロウェイ氏は、それが、彼らの友人関係を育む力、デートをしたり、仕事を見つけたり、人生の目的を見つけたりする力に悪影響を及ぼしている、と言います。ここでスコットさんをお迎えます。

統計を見ると^{あぜん}とします——例えば、18歳から25歳の男性の45%は女性に対面でアプローチした経験が一度もないとか。

スコット・ギャロウェイ 対面で女性をデートに誘った経験が一度もないのです。今のアメリカをざっくり表現すると、AIに巨大な賭けをしている、と言えるでしょう。(たった)10社がGDP成長の全てをけん引し、(アメリカ全体の)利益の伸びの77%をもたらしています。今や、わが国の経済は、まさに「マグニフィセント・テン」とよく呼ばれる10社にかかっているのです。こうした企業はさまざまなことをやっていますが、率直に言えば、彼らは、(基本的に)人々を激怒させ、分断し、そのうえで、若者を(オンライン生活以外の)他の全ての活動から隔離することをビジネスとしています。私は別に……

クーパー しかもAIの方向性を考えると状況は悪化する一方です。例えば、(AI) エージェントやチャットボットなどの、セクシーな服を着たアニメっぽいキャラクターが若い男性の話し相手になっています。

ギャロウェイ 最初はほぼ害などなさそうなやりとりです。(でも) AIを使っていると、やりとりの最後に、あらがいがたいプロンプトが(そのAIから)出てくるのに気づいたことはありませんか。「これを一連のツイートにまとめましょうか」といった。で、気付けば3時間も経ってしまっている、というわけです。



「今のアメリカはAIへの巨大な賭けをしている」と表現するギャロウェイ氏



イーロン・マスク氏率いるxAI社が開発したAIプログラム「Grok(グロック)」の画面

■ the Magnificent Ten

米国株式市場(S&P 500)の成長をけん引する巨大企業10社を指す。2023年に市場を席卷した「マグニフィセント・セブン」(Alphabet、Apple、Meta、Amazon、Microsoft、NVIDIA、Tesla)に、AI関連で急成長する3社(Advanced Micro Devices、Broadcom、Palantir Technologies)などを加えた呼称。

■ agents and chatbots...chatting with young men

「AIコンパニオン」や「AIガールフレンド」とも呼ばれるサービス。AIを利用して疑似恋愛や親密な会話を楽しむチャットボットであり、露出度の高い画像生成機能を備えたものも多い。Character.ai、Replika、Kindroidなどがある。